

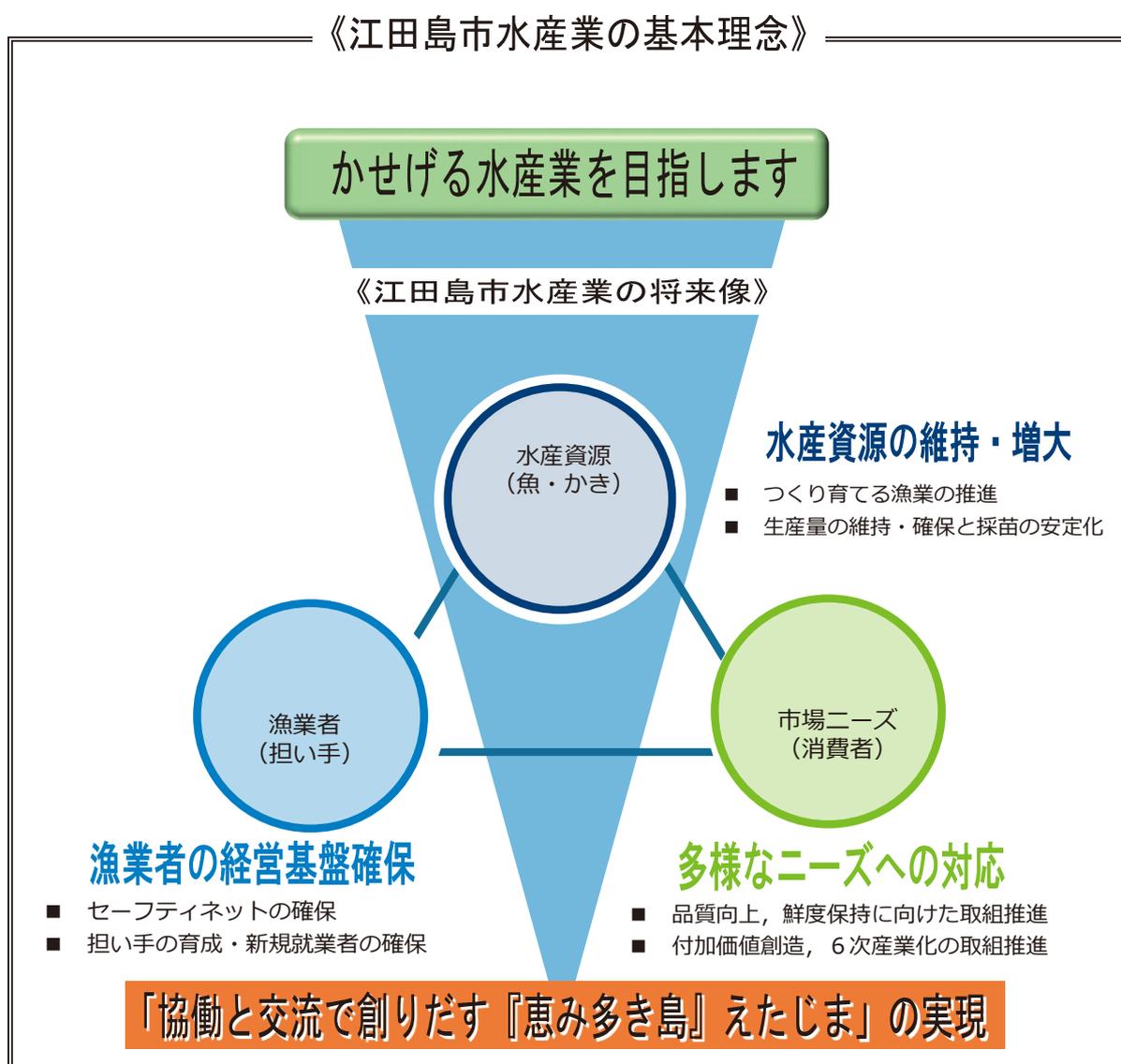
# 第4章：水産業の基本理念と将来像

## 1 基本理念

平成22年7月に策定した江田島市水産振興ビジョンでは、「元気な江田島市水産業づくり」を基本理念として取り組んできましたが、第2次江田島市総合計画の目指す姿を踏まえ、実現すべき水産業の「基本理念」を次のとおり見直しました。

この基本理念は、水産資源の減少に伴う収入の低下や漁業者の減少及び高齢化から脱却するため、「かせげる水産業<sup>8</sup>」を目指しながら、担い手・新規漁業者の維持・確保に努めるものとします。

江田島市水産業の「将来像」は、本市の目指す姿である「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に寄与するものです。



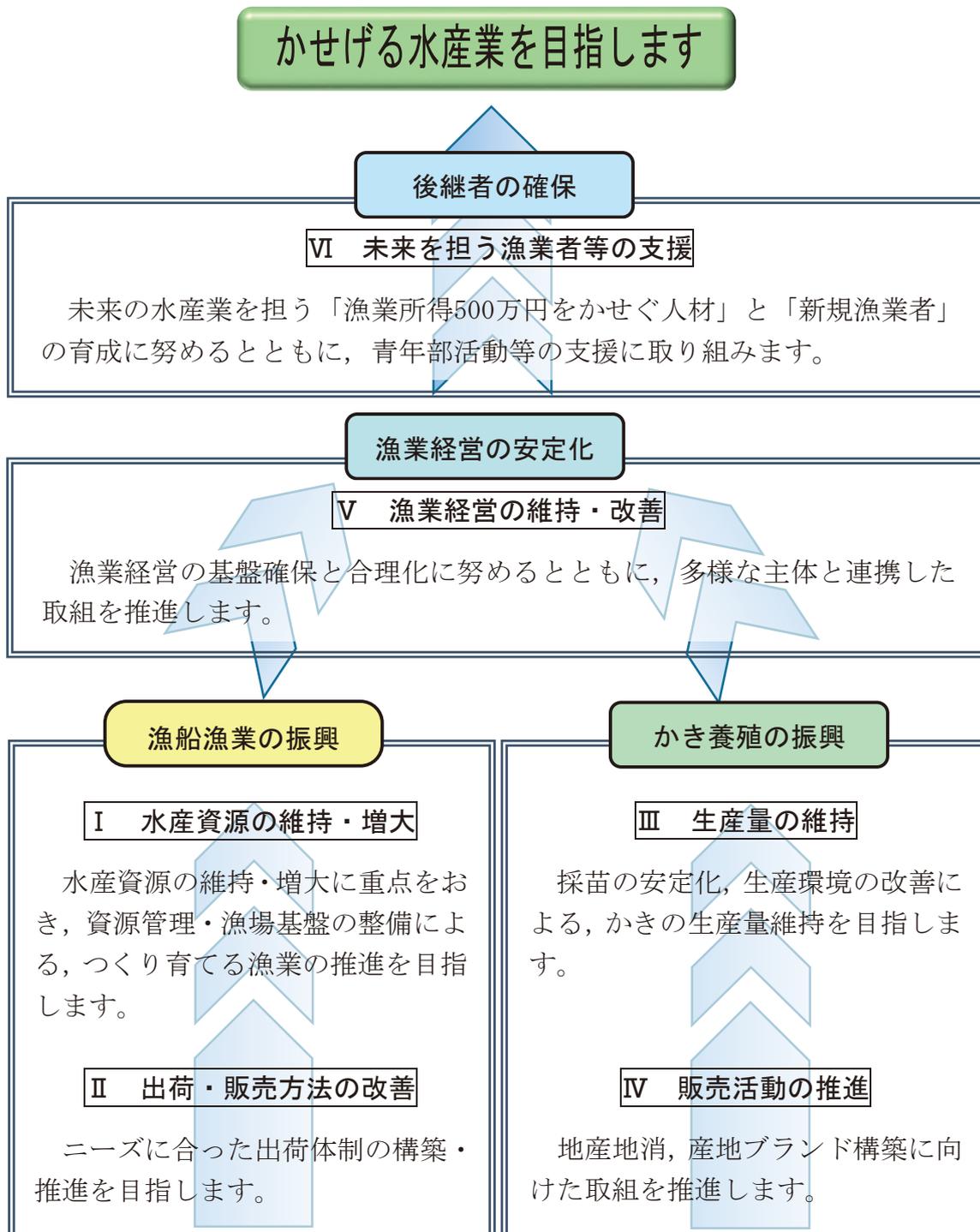
### 【用語解説】

8 かせげる水産業とは、「漁業所得500万円」をかせぐことを意味している。

## 2 水産振興ビジョン(基本方針)

水産振興ビジョンは、「本市水産業の将来像」実現に向けて推進すべき、本市の水産振興にかかわる基本的な方針を示します。

ここでは、水産振興ビジョンの四つの柱に沿った目標を掲げ、将来像の実現に向けて推進する方針を定めます。



# 第5章：重点プロジェクト

## 1 重点プロジェクトの概要

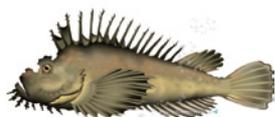
水産振興ビジョンの見直しにおける課題を踏まえながら、計画的に実施していく施策を「重点プロジェクト」として位置付けて、取り組めます。

### 資源管理で魚を増やそう!

#### 重点① つくり育てる漁業と資源管理プロジェクト

平成29年度から県中西部海域において、オニオコゼ、キジハタを対象に種苗の集中放流と資源管理による資源増大の取組が開始されます。

藻場造成による幼稚魚の生育場所を増やすことも計画しており、放流、資源管理及び基盤整備を一体的に取り組めます。



オニオコゼ



キジハタ



ヒラメ



カレイ

役割分担の凡例 ◎：主体, ●：支援, ○：協力

指標名	市	漁協等	関係団体等	平成28年度	平成31年度	平成36年度
魚礁・築いそ造成 (箇所)	◎	○		—	延べ3	延べ10
種苗放流事業費 (千円)	●	◎	○	10,741	11,500	12,500

指標名 (参考)	市	漁協等	関係団体等	平成26年度	平成31年度	平成36年度
漁船漁業生産量 (ト)	—	—	—	1,216	924	865
漁船漁業生産額 (百万円)	—	—	—	707	463	386

※ 「漁船漁業生産量」及び「漁船漁業生産額」は、漁業センサスを用いて算出したすう勢値である。

## 市場ニーズに対応した

### 重点② 産地ブランド構築プロジェクト

本市のかき生産量は、広島県の24%を占めるものの、全国からみた産地としての認知度が低い状況です。

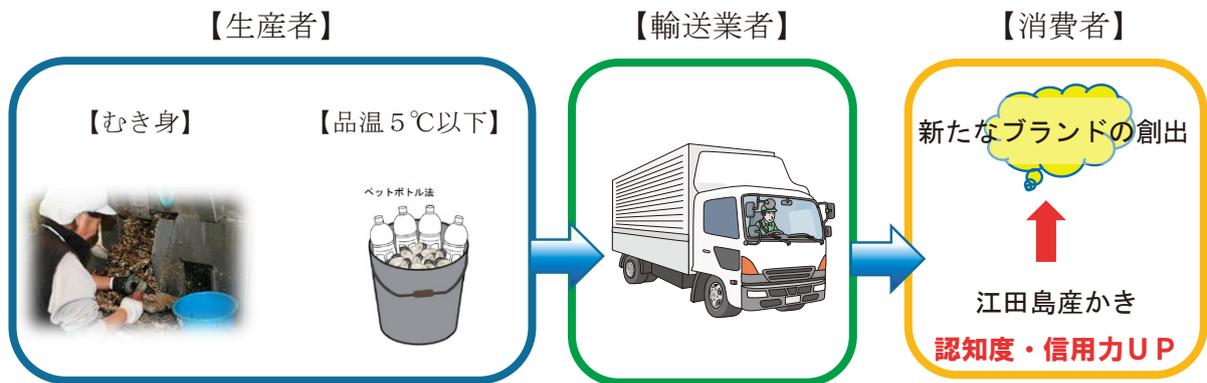
そこで、生産者自らができる取り組みとして、広島かき協議会が示している「かきの品質管理マニュアル」に沿った品質管理に取り組みます。

品質管理は水揚げ後から出荷・運搬までを対象としており、これらの取り組みによって、消費期限を1日延ばすことも可能となります。

高鮮度のむき身かきを出荷し、新たなブランドの創出を目指します。

#### 【取組概要】

目指せ 100%  
「コールドチェーン<sup>9</sup>の確立」



① 品温 5℃以下！  
(むいたらすぐに冷やす)



《出典：広島かき協議会（かきの品質管理マニュアル）》

② 品温 5℃以下！  
(冷蔵車での集荷、  
庫内温度は 2℃以下)

役割分担の凡例 ◎：主体, ○：協力

指標名	市	漁協等	関係団体等	平成27年度	平成31年度	平成36年度
生産者 (%)	○	◎	○	65	80	100
輸送業者	○	○	◎	協力・一体的活動 →		

※ 指標値は、江田島市調べによる。

#### 【用語解説】

9 コールドチェーンとは、産地から消費地まで、一貫して低温の状態を保ったまま流通させる仕組みをいう。

### 重点③ 鮮魚出荷プロジェクト

市場や量販店は、品質・鮮度共に良い、本市の新鮮な魚介類を求めています。

そこで、関係者や関係団体と連携しながら、新たな市場や量販店を開拓し、漁業収入の向上を目指して取り組みます。

- 市場等の要望把握⇒ 実施漁協等との調整⇒ 輸送手段の確保⇒ 出荷開始



《参考事例：広島県漁連等の量販店への出荷》

役割分担の凡例 ◎：主体, ○：協力

指標名	市	漁協等	関係団体等	平成28年度	平成31年度	平成36年度
新規市場への出荷数	○	◎	◎	—	延べ1	延べ2
量販店への出荷店舗数(店舗)	○	◎	◎	2	延べ3	延べ4

※ 指標値は、江田島市調べによる。

### 重点④ 未利用魚種の有効活用プロジェクト

本当は美味しいのにイメージが悪く消費者に敬遠されている魚種があります。そこで、一手間かけて加工品にすることで、単価アップが期待できます。魚本来の美味しさを伝えるとともに、魚食の普及を目指して取り組みます。

〔事例案〕

- 新たな加工品の開発(企業・大学・漁協女性部との連携など)
- 地元の醤油を活用した“丼”の開発
- 市商工会(飲食店)とコラボレーションによる食べ比べコンテスト
- 学校給食への活用
- 情報発信の工夫



試作品例：クロダイのフライ

役割分担の凡例 ◎：主体, ○：協力

指標名	市	漁協等	関係団体等	平成28年度	平成31年度	平成36年度
未利用魚種* (種類)	○	◎	○	0	延べ2	延べ3
活用した商品数(点)	○	○	◎	0	延べ4	延べ8

※ 未利用魚種…クロダイ, サヨリ, カレイ(アマテ・マコ), ハゲ

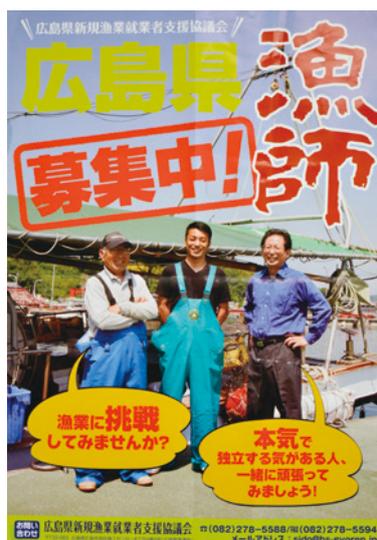
※ 指標値は、江田島市調べによる。

## 一緒に始めよう!

### 重点⑤ ニューフィッシャーマン育成プロジェクト

広島県の水産業において重要な役割を担っている本市は、水産資源を守り育てながら、高付加価値化に向けた取り組みとともに、次代を担う漁業者の育成に取り組むことで、かせげる水産業を目指していきます。

【周知ポスター】



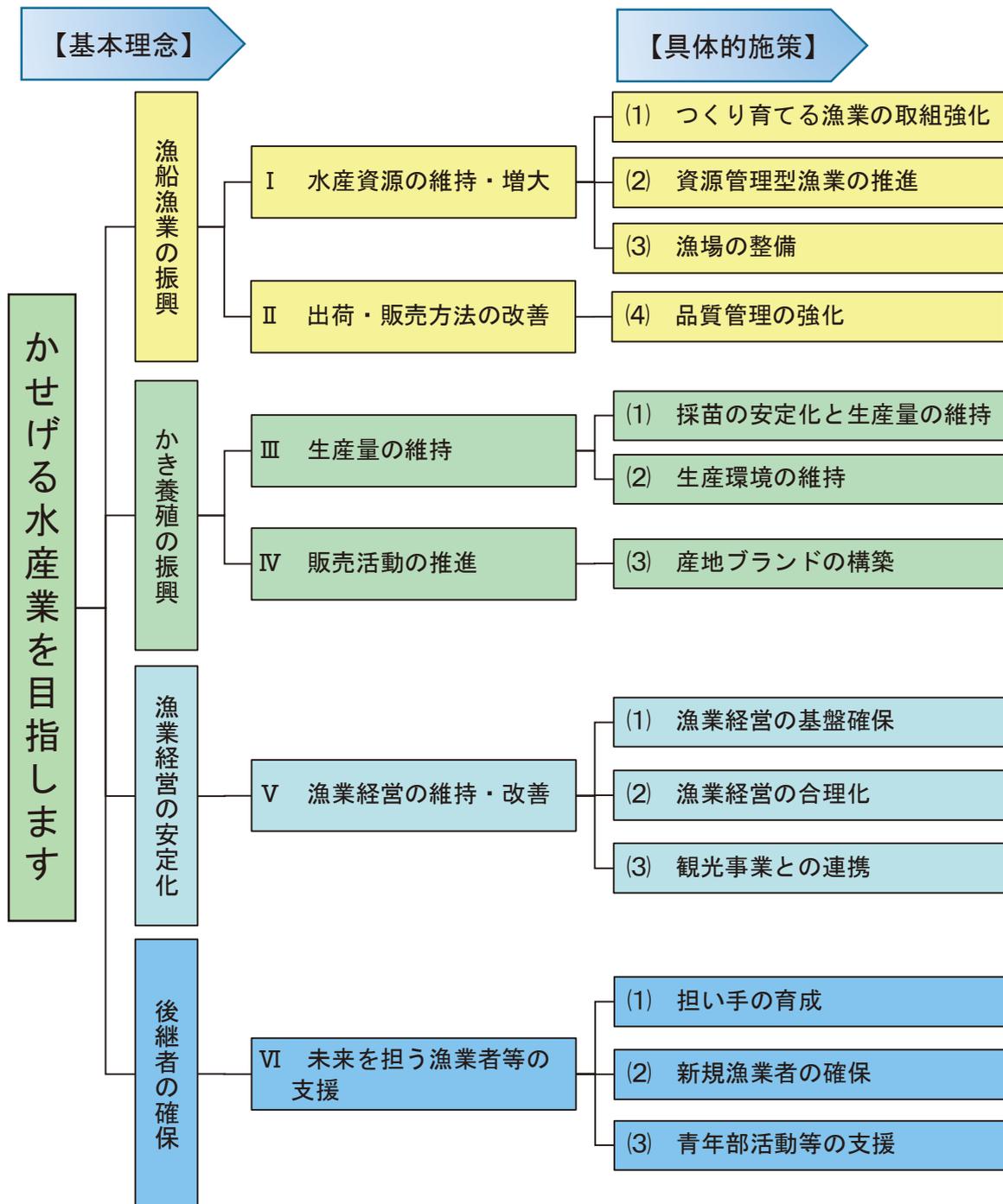
【新規漁業者就業フェア】



# 第6章：施策の展開

## 1 施策体系

本市の目指す水産業の実現に向けて四つの柱に沿った基本施策を設定し、江田島市、漁協、漁業者・生産者及び関係団体等が協働しながら、体系的に各種施策を実施します。



## 2 具体的方策

### ● 漁船漁業の振興

役割分担の凡例

◎：主体, ●：支援, ○：協力

I 水産資源の維持・増大			
【施策展開の方向】			
地先定着魚を始めとする水産資源の安定供給を図るため、放流効果の把握や検証により効果的な栽培漁業を推進するとともに、資源管理を行いながら、稚魚の生息環境を維持・改善し、水産資源の維持・増大に取り組みます。			
(1) つくり育てる漁業の取組強化			
㊦ 放流魚種・サイズの決定, 効果の検証	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 放流魚種の選定・放流サイズの決定と、広域回遊魚種から地先定着魚種への比重を高めた放流に努め、「つくり育てる漁業」を推進します。	●	◎	○
◆ 地魚の安定供給を図るため、放流効果の把握や検証を行いながら、より効果的な放流を図ります。	●	◎	○
① 新たな魚種の放流	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 新たな魚種を放流するためには、広島県などと連携した開発を支援します。	●	◎	○
(2) 資源管理型漁業の推進			
㊦ 管理対象魚種の拡大, 体制の充実	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ つくり育てる漁業の効果を高めるため、漁業者主体による「バックフィッシュ運動」を推進します。	○	◎	○
◆ オニオコゼ等の小型魚, 小型ナマコ等の再放流を中心とした資源管理を推進します。	○	◎	○
◆ 資源の再生産を図るためには、産卵場・育成場の保護に向けて、漁業者団体が連携した保護区域の設定を図ります。	○	◎	●
◆ 資源管理型漁業を推進するため、漁業者団体及び遊漁者団体との合意形成に向けた取組を推進します。	○	◎	○
◆ 漁協間の連携はもとより、取締機関とも連携した、定期的な漁場の巡視や監視に努めます。	○	◎	○
① カワウ等の被害防止	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 幼稚魚の保護を図るため、カワウ等の有害鳥獣の駆除を支援します。	●	○	◎

(3) 漁場の整備			
⑦ 漁場基盤の整備及び機能回復	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 魚礁・築いそ機能の低下を防ぐため、定期的な調査を実施し、機能回復を図ります。	◎	○	
◆ 地先定着型魚種等の水産資源の維持・増大を図るため、計画的に藻場・築いそ等の育成場を造成します。	◎	○	
① 漁場環境の維持・修復	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 漂着ごみ・漂流ごみ・海底ごみは、海ごみの種類に応じて、多様な主体と連携しながら、環境の維持・修復に向けて回収します。	●	◎	
◆ 漁場環境の維持・修復の一環として、粉碎かき殻を利用した底質改善に努めます。	○	◎	○

役割分担の凡例 ◎：主体, ●：支援, ○：協力

<b>II 出荷・販売方法の改善</b> <b>【施策展開の方向】</b> 品質管理のもとで鮮度の良い地魚の出荷に努めるとともに、食の安全・安心、多様な消費者ニーズへの対応に努めます。 また、地産地消に向けた販売活動や付加価値を高めるための取組を推進し、品質・鮮度共に良い水産物の出荷と販売方法の改善に取り組みます。			
(4) 品質管理の強化			
⑦ 品質の改善	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 漁獲から出荷までの鮮度低下を抑制し、鮮度の良い水産物を出荷する取組を推進します。	○	◎	
◆ 鮮度の良い水産物を出荷するため、海水氷を利用した製氷施設や冷凍・冷蔵施設などの鮮度保持に向けた施設整備を支援します。	●	◎	
① 食の安全・安心	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ イベント等を通じて消費者と生産者を結び付けるための取組を支援します。	●	◎	○
◆ 消費者の信頼を得るために、食品表示の適正化を図ります。	◎	◎	○

⑦ 市場等との連携	市	漁協・ 漁業者等	関係団体等
◆ 多様な消費者ニーズに対応するため、市場関係者や量販店と意見交換を行うなど、連携を密接にする取組を推進します。	○	◎	◎
⑧ 販売活動の展開	市	漁協・ 漁業者等	関係団体等
◆ 学校給食を始めとする地産地消に向けた商品開発の取組を推進します。	○	◎	○
◆ イベントなどを通じて、魚本来の美味しさを消費者に伝えるための取組を支援します。	●	◎	○
◆ 適正な鮮度管理と規格化により、国内の新規市場(市場・量販店など)や産地ブランド化、又、海外への販路開拓を目指す取組を支援します。	●	◎	○
◆ 自ら加工、流通・販売を行う6次産業化や中小企業者と連携した農商工連携による高付加価値化に向けた取組を支援します。	●	◎	○
◆ 未利用魚種の加工を行う女性などの活動を充実させ、加工品の開発・製造・販売活動に努めます。	○	◎	○
◆ 衛生的で安全・安心な加工品を製造するための水産加工処理施設等の整備を支援します。	●	◎	

《目標指標》

指標名	単位	現状 (平成26年度)	中間目標 (平成31年度)	目標 (平成36年度)
漁業経営体数	体	267	250	233
うち小型機船底びき網経営体数	体	81	61	41
漁船漁業生産量(イワシ類を除く)	トン	1,216	924	865
うちオニオコゼ、キジハタの漁獲量	トン	5.8	6.2	6.5
漁船漁業生産額(イワシ類を除く)	百万円	802	463	386

※1 「漁業経営体数」、「小型機船底びき網経営体数」、「漁船漁業生産量」及び「漁船漁業生産額」は、漁業センサスを用いて算出したすう勢値である。

※2 「オニオコゼ、キジハタの漁獲量」は、広島市中央卸売市場のデータを用いて算出したすう勢値である。

● **かき養殖の振興**

役割分担の凡例

◎：主体、●：支援、○：協力

Ⅲ 生産量の維持  
**【施策展開の方向】**  
 近年のかき養殖は採苗不調に加え、身入りの遅れ、へい死の増加、食害などがかき養殖を行う上での課題として挙げられます。  
 こうした課題や環境の変化に対応した養殖に取り組むとともに、生産環境の維持と漁場周辺環境の改善に努めながら、かきの安定生産に取り組めます。

(1) 採苗の安定化と生産量の維持

⑦ 採苗情報の確保, 採苗技術の向上	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ かきの安定した生産を行うためには、広島湾北部海域への親貝筏の設置とともに、リアルタイムな採苗情報の入手に努めます。	●	◎	○
◆ 採苗情報の入手と併せて、良質な種苗を確実に採取するため、採苗技術の向上に努めます。	○	◎	○
① へい死・成長阻害対策等	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ かきのへい死や成長阻害、食害に対応するため、養殖漁場毎の育成状況の把握や原因究明に努めるなど、広島県の研究機関等と連携した取組を支援します。	●	◎	○
◆ かきの身入りを促進させるために、過密養殖の解消や筏の配置・移動など、シーズンを通じてかきの安定生産に努めます。	○	◎	○
◆ 海水温の上昇など、養殖環境の変化に対応するため、広島県の研究機関等と連携した取組を推進します。	○	◎	○

(2) 生産環境の維持

⑦ 漁場の管理, 維持・修復	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ かきの生産には適切な漁場行使が必要不可欠であるため、漁場管理委員会を中心とした漁場の監視体制を強化するとともに、適正な行使に努めます。	○	◎	○
◆ 養殖資材を適正に廃棄するとともに、流失資材や海底堆積物の回収に努め、漁場環境の維持・修復を図ります。	○	◎	○
① 漁場周辺環境の改善	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 「豊かな森が豊かな海をつくる」ということを再認識し、漁場周辺環境の保全を目的とした、植樹活動を推進します。	○	◎	
◆ 住民団体などが主体となり、森林が有している国土保全や水源涵養などの機能を保全するための活動を推進します。	●	○	◎

<b>IV 販売活動の推進</b> <b>【施策展開の方向】</b> かきのむき身に当たっては、適切な品温管理を行い、品質・鮮度共に良いかきの出荷に努め、産地としての信用を構築します。 また、産地間競争に打ち勝つブランドを構築するために、市場へのお荷や多様なニーズに対応した販売活動を展開し、「江田島産かき」の商品価値の向上に取り組みます。			
<b>(3) 産地ブランドの構築</b>			
㊦ 品質・衛生管理等の徹底	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 養殖海域における貝毒検査とともに、ノロウイルス対策の自主検査に取り組み、徹底した管理体制のもと、安全なかきのお荷を推進します。	○	◎	○
◆ かきのお荷に当たっては、清浄海水を適正に使用するとともに、塩分濃度の適正な管理に努めます。	○	◎	○
◆ かきのお荷に当たっては、海水氷などを利用した品温管理と適正な表示を行い、生産から流通まで一貫した品質管理(コールドチェーン)の強化を図ります。	○	◎	◎
① 品質基準の遵守	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ むき身の品温、品質・鮮度管理を行い、消費期限を延長するなど、品質向上の取組を支援します。	●	◎	○
㊧ 市場との連携	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 消費者ニーズに合わせて新鮮でおいしいかきを市場へお荷し、ブランド化を目指す生産者グループなどの取組を支援します。	●	◎	○
㊨ 販売活動の展開	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 生産者がイベントに参加し、自らの商品を消費者に直接販売する取組を推進します。	○	◎	○
◆ 自ら加工、流通・販売を行う6次産業化や中小企業者と連携し、農商工連携による高付加価値に向けた取組を支援します。(再掲)	●	◎	○
◆ 市場評価の高い新鮮なかきをお荷するため、海水氷製氷施設の整備を支援します。	●	◎	

《目標指標》

指標名		単位	現状 (平成26年度)	中間目標 (平成31年度)	目標 (平成36年度)
	かき養殖経営体数	体	68	57	47
	かきの生産量	トン	5,062	4,673	4,629
	かきの生産額	百万円	4,444	3,680	3,648

※ 「かき養殖経営体数」は漁業センサスを、「かきの生産量」及び「かきの生産額」は農林水産統計年報を用いて算出したすう勢値である。

● 漁業経営の安定化

役割分担の凡例

◎：主体, ●：支援, ○：協力

<p>V 漁業経営の維持・改善</p> <p>【施策展開の方向】</p> <p>漁業経営は、不慮の事故や漁獲量の減少、また、燃油高騰の影響を受けやすいなど、厳しい中での経営が続いています。</p> <p>このような状況を克服するためには、漁協、漁業者及び関係団体が一体となって、漁業経営の安定化と合理化を推進することが重要です。</p> <p>また、地域水産業の強みを生かして、体験・交流活動の場を提供し、観光振興などと連携した経営の改善を目指します。</p>			
(1) 漁業経営の基盤確保			
⑦ 漁業経営の安定化	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 漁業者の経営基盤となる漁船保険と漁業共済制度(漁獲)を活用し、漁業経営の安定化に向けた取組を支援します。	●	◎	○
◆ 生産者の経営基盤となる漁船保険と漁業共済制度(養殖・漁業施設)を活用し、経営の安定化に向けた取組を支援します。	●	◎	○
◆ かき養殖業者を始めとする外国人技能実習生に対し、水産業の技能修得活動の前に実施する講習(座学)が円滑に実施されるように、公共施設を提供するとともに、研修施設の整備を検討します。	◎	○	
(2) 漁業経営の合理化			
⑦ 省エネ機器等の導入	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 漁業者・生産者自ら漁船のメンテナンスを充実させ、経費削減を推進します。	○	◎	
◆ 制度資金等により、老朽化した漁船、機器等を更新し経費削減を図ります。	○	◎	○
◆ かきの殻むきコスト削減に向けて、自動化や外部委託による作業の合理化に努めます。	○	◎	
① 集荷・運搬方法の改善	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 多様な市場ニーズに対応するため、漁獲物の集出荷等、効率的な運搬方法への転換と体制づくりを推進します。	○	◎	○
◆ 効率的な集出荷を目指すため、既存の共同出荷施設等に対する機能拡充(製氷施設・漁獲物鮮度保持施設など)などの施設整備を支援します。	●	◎	○

(3) 観光事業との連携			
㊦ 販売活動の推進	市	漁協・ 漁業者等	関係団体等
◆ 漁業者・生産者自らがイベントなどへ参加し、消費者に直接販売する取組を充実します。(再掲)	○	◎	○
① 集荷・運搬方法の改善	市	漁協・ 漁業者等	関係団体等
◆ 本市の水産資源を観光資源として有効に活用するため、水産資源のPR活動に努めます。	○	◎	○
㊵ 体験・交流活動との連携	市	漁協・ 漁業者等	関係団体等
◆ 体験型修学旅行や体験型モニターツアーなど、漁業体験活動の受入先として、関係団体との連携に努めます。	○	○	◎

《目標指標》

指標名	単位	現状 (平成26年度)	中間目標 (平成31年度)	目標 (平成36年度)
漁船(小型機船底びき網)の更新	隻	3	延べ15	延べ30
省エネ型エンジンの導入	隻	15	延べ75	延べ150
地元水産物をPRするイベント数	回	4	6	7
地元水産物の直売所・かき小屋等	箇所	2	延べ4	延べ6

※1 「漁船の更新」及び「省エネ型エンジンの導入」は広島県調べによる。

※2 「地元水産物をPRするイベント数」及び「地元水産物の直売所・かき小屋等」は、江田島市調べによる。

● 後継者の確保

凡例 ◎：主体, ●：支援, ○：協力

<p>VI 未来を担う漁業者等の支援</p> <p>【施策展開の方向】</p> <p>漁業者の減少・高齢化や後継者不足によって、地域活力の低下が懸念されています。こうした現状から新規漁業者を確保するため、UJIターン者の就労希望者へ情報受発信を行うなど、積極的に取り組みます。</p> <p>また、青年部、女性部活動などを充実させ、漁業の担い手確保・育成を推進し、長期的に安定した漁業が継続できる基盤づくりに向けて取り組みます。</p>			
(1) 担い手の育成			
㊦ 担い手の育成	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 漁業者による加工、販売活動の取組を推進し、経営感覚を持った担い手の育成に努めます。	○	◎	○
◆ 漁業者グループ等による新たな加工、販売活動の取組に必要な機器等の導入に当たっては、状況に応じた支援措置を講じます。	●	◎	○
(2) 新規漁業者の確保			
㊦ 新規漁業者の確保	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 就業相談から技術習得、就業まで円滑に実施できるよう、漁協、水産関係団体等と連携し、新規漁業者の確保に努めます。	○	○	◎
◆ 独立就業に必要な漁船、漁具等の施設整備については、必要に応じて支援措置を講じます。	●	◎	○
(3) 青年部活動等の支援			
㊦ 調査活動の強化	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 新たな魚種の放流や、かき養殖における食害対策、水産物の加工品開発などの調査・研究活動を支援します。	●	◎	○
◆ 青年部が主体的に取り組む新技術や、地球環境にやさしい養殖資材の導入などの調査・研究活動を推進します。	○	◎	○
㊦ PR・イベント活動等の推進	市	漁協・漁業者等	関係団体等
◆ 青年部、女性部等が主体となり実施する地元水産物等の直販、イベントなどの取組を推進します。	○	◎	○

《目標指標》

指 標 名		単 位	現 状 (平成26年度)	中間目標 (平成31年度)	目 標 (平成36年度)
	漁船漁業の担い手数	人	11	7	6
	新規漁業者の育成	人	延べ2	延べ3	延べ3

※1 「漁船漁業の担い手数」は, 漁業所得500万円以上の漁業者をすう勢値により算出した(広島県調べ)。

※2 「新規漁業者の育成」は, 毎年度, 広島県が実施している「新規就業者数調査」からのすう勢値により算出した。

# 第7章：計画の推進に向けて

## 1 計画の推進体制及び各主体の基本的役割

本計画に掲げる施策を効果的かつ効率的に実施するためには、従来のように単独の主体が取り組む形から、主体を超えて水産振興に係る施策を着実に推進するための体制が必要となります。

そこで、江田島市漁業振興協議会及び広島県と市が協議を行いながら取り組む必要があります。また、「行政」、「漁協（漁業者・生産者）」及び「関係団体等」が、それぞれの役割を果たすとともに、相互に連携を図り、協働しながら取り組むことが重要です。

### ● 江田島市(行政)

本計画に沿った各種施策を展開し、漁協・漁業者・生産者の支援を行います。

また、国・広島県との連携により実施すべき施策については、相互に連携を図りながら行うこととします。

### ● 漁業協同組合

本市の水産物は「産業振興と観光振興における高い資源である」という認識のもと、今後も水産資源の維持・増大に努めるとともに、漁業者・生産者と連携しながら将来像の実現に向けて取り組むものとしします。

### ● 漁業者・生産者

漁協の努力と行政の支援だけでは、本市水産業の将来像を支えるには限界があります。漁協や行政とともに、漁業者・生産者自らが主体的な役割を担い、問題の解決に向けて取り組むものとしします。

### ● 水産関係団体(広島県漁業協同組合連合会など)

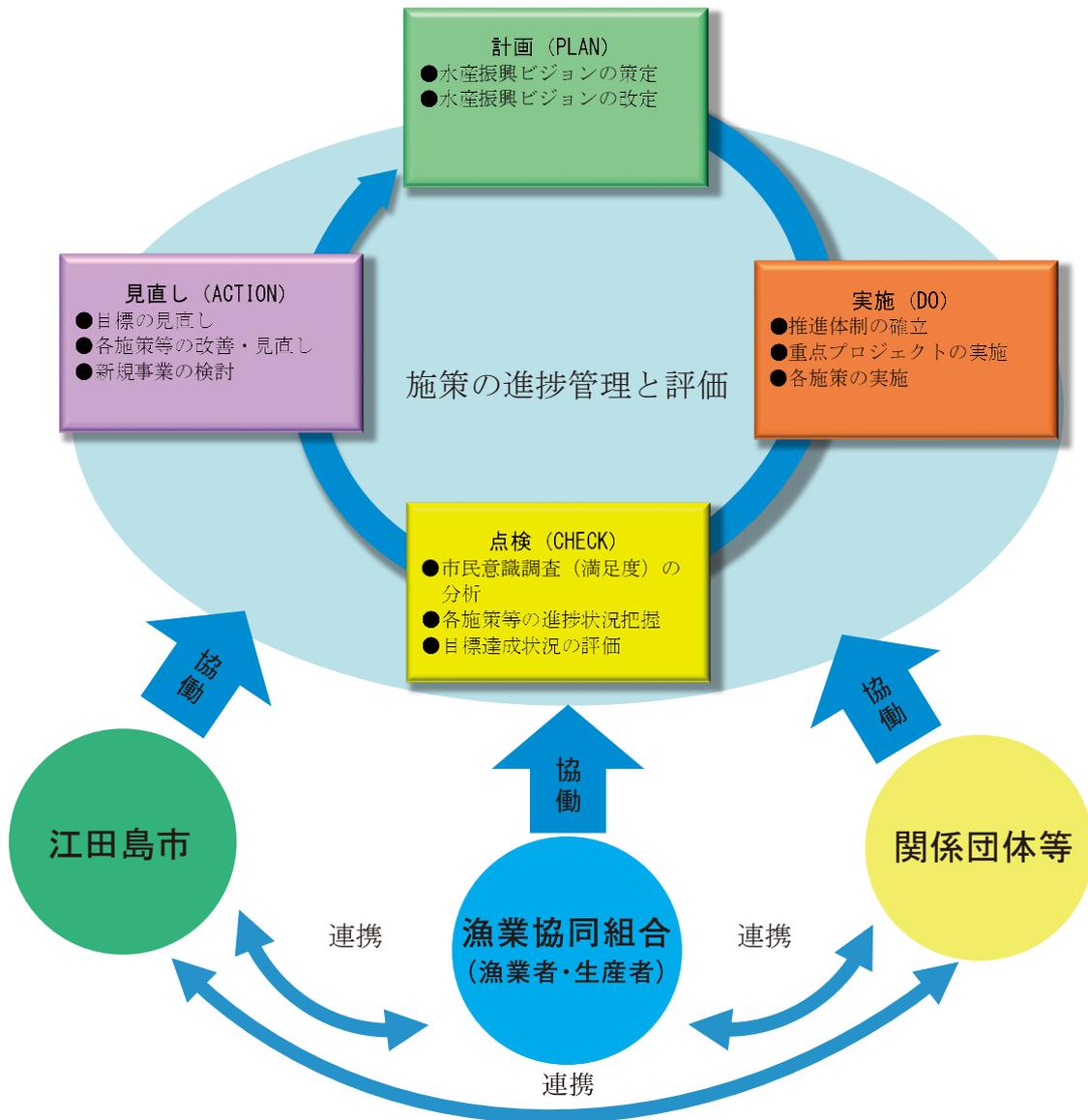
水産業の発展と漁業経営の安定を担うとともに、消費者への情報発信と魅力ある水産物の提供に向けて取り組むものとしします。

### ● 関係団体等

施策の推進に当たっては、各種関係団体が得意とする分野での協力が必要不可欠となります。行政・漁協(漁業者・生産者)・関係団体等が連携を密にし、地域資源を活用しながら取り組むものとしします。

## 2 計画の進行管理

本計画の進行管理は、毎年度事業進行の把握を行い、施策の進捗状況や効果、目標達成度などを確認します。



## 3 財政措置

本計画を推進するために、市は必要な財政措置を行うとともに、国・広島県を始めとする補助制度を活用しながら、財源の確保に努めます。

## 4 各種計画との連携

本市の水産振興に係る各種計画については、本計画との整合を図りながら推進していきます。

# 第8章：推進体制と年次計画

## ● 漁船漁業の振興

### I 水産資源の維持・増大

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力

➡：重点プロジェクト

➡：県営事業

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間											
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36				
水産資源の維持・ 増大に重点をおき、 資源管理・漁場基盤 の整備による、つく り育てる漁業を目指 します	(1) つくり育てる漁業の取組強化																
	⑦ 放流魚種・サイズの決定、 効果の検証	・つくり育てる漁業の推進	●	◎	○	実施(継続) ➡											
		・放流効果の把握と検証	●	◎	○	実施(新規) ➡											
	⑧ 新たな魚種の放流	・新たな魚種の放流	●	◎	○	調査・研究 ➡											
	(2) 資源管理型漁業の推進																
	⑦ 管理対象魚種の拡大，体制 の充実	・バックフィッシュ運動の推進	○	◎	○	実施(継続) ➡											
		・オニオコゼ，小型ナマコ等の再 放流を中心とした資源管理	○	◎	○	実施(継続) ➡											
		・産卵場・育成場の保護区域設定	○	◎	●	実施(新規)・検証・評価 ➡											
		・漁業者団体等との合意形成によ る資源管理型漁業の推進	○	◎	○	実施(新規) ➡											
		・取締機関と連携した漁場の監視	○	◎	○	実施(継続) ➡											
	⑧ カワウ等の被害防止	・幼稚魚の保護を図るため，カワ ウ等の有害鳥獣駆除	●	○	◎	実施(継続) ➡											
	(3) 漁場の整備																
	⑦ 漁場基盤の整備及び機能回 復	・魚礁・築いそ等の調査による機 能回復	◎	○		実施(継続) ➡											
		・藻場・築いそ等の育成場の造成	◎	○		実施(新規) ➡											
	⑧ 漁場環境の維持・修復	・海ごみの回収による環境の維 持・修復	●	◎		実施(継続) ➡											
		・粉碎かき殻を利用した底質改善	○	◎	○	調査・研究 ➡		実施(新規) ➡			検証・評価 ➡						

● 漁船漁業の振興

II 出荷・販売方法の改善

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力      ➡：重点プロジェクト

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間								
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	
ニーズに合った出荷体制の構築・推進を目指します	(4) 品質管理の強化	⑦ 品質の改善	・鮮度の良い水産物の出荷	○	◎		実施(継続) ➡							
			・鮮度保持施設等の整備	●	◎		実施(新規) ➡							
	① 食の安全・安心	・イベント等の開催	●	◎	○	実施(継続) ➡								
		・食品表示の適正化	◎	◎	○	実施(継続) ➡								
	⑦ 市場等との連携	・市場関係者や量販店との連携強化	○	◎	◎	調査・研究・実施(新規) ➡								
	㊥ 販売活動の展開	・地産地消に向けた商品開発	○	◎	○	調査・研究・実施(新規) ➡								
		・漁業者自らによるイベントへの参加	●	◎	○	実施(継続) ➡								
		・新規市場の開拓と産地ブランド化や海外への販路開拓	●	◎	○	実施(継続) 実施(新規) ➡								
		・6次産業化や農商工連携による高付加価値化	●	◎	○	実施(継続)・検証・評価 ➡								
		・未利用魚種を活用した加工品の開発・製造・販売	○	◎	○	検討・実施(新規) ➡ 検証・評価 ➡								
	・水産加工処理施設等の整備	●	◎		検討 ➡ 実施(新規) ➡									

● かき養殖の振興

III 生産量の維持

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間								
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	
採苗の安定化，生産環境の改善による，かきの生産量維持を目指します	(1) 採苗の安定化と生産量の維持	⑦ 採苗情報の確保，採苗技術の向上	・広島湾北部海域への親貝筏の設置と採苗情報の入手	●	◎	○	実施(継続) ➡							
			・良質な採苗を採取するための採苗技術の向上	○	◎	○	実施(継続) ➡							
		① へい死・成長阻害対策等	・へい死や食害などに伴う研究機関との連携	●	◎	○	調査・研究 ➡							
			・シーズンを通じてかきの安定生産	○	◎	○	実施(継続) ➡							
			・養殖環境の変化に対応するため研究機関との連携	○	◎	○	調査・研究 ➡							
	(2) 生産環境の維持	⑦ 漁場の管理，維持・修復	・漁場の監視体制強化と適正な漁場の行使	○	◎	○	実施(継続) ➡							
			・養殖資材の適正な廃棄，流失資材と海底堆積物の回収	○	◎	○	実施(継続) ※流失資材のみ ➡							
		① 漁場周辺環境の改善	・若手漁業者等による植樹活動の推進	○	◎		実施(継続) ➡							
		・住民団体等による自主的・継続的な森林保全活動の推進	●	○	◎	実施(継続) ➡								

● かき養殖の振興

IV 販売活動の推進

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力      ➡：重点プロジェクト

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間								
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	
地産地消，産地ブランド構築に向けた取組を推進します	(3) 産地ブランドの構築													
	㊦ 品質・衛生管理等の徹底	・安全なかきの出荷	○	◎	○	実施(継続) ➡								
		・清浄海水と塩分濃度の適正管理	○	◎	○	実施(継続) ➡								
		・品温管理と適正表示による品質管理の強化	○	◎	◎	実施(継続) ➡								
	㊧ 品質基準の遵守	・品温，品質・鮮度管理による品質の向上	●	◎	○	実施(継続) ➡								
	㊨ 市場との連携	・消費者ニーズに合わせた新鮮でおいしいかきの出荷	●	◎	○	実施(継続) ➡								
	㊩ 販売活動の展開	・生産者自らによるイベントへの参加	○	◎	○	実施(継続) ➡								
・6次産業化や農商工連携との連携(再掲) ・海水氷製氷施設等の整備		●	◎	○	実施(継続)・検証・評価 ➡ 調査・研究 ➡ 実施(新規) ➡									

● 漁業経営の安定化

V 漁業経営の維持・改善

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間								
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	
漁業経営の基盤確保と合理化に努めるとともに，多様な主体と連携した取組を推進します	(1) 漁業経営の基盤確保													
	㊦ 漁業経営の安定化	・漁業者セーフティーネットの支援	●	◎	○	実施(継続) ➡								
		・生産者セーフティーネットの支援	●	◎	○	実施(継続) ➡								
		・外国人技能実習生への円滑な研修の実施	◎	○		実施(継続) ➡ 実施(新規) ➡								
	(2) 漁業経営の合理化													
	㊦ 省エネ機器等の導入	・漁船メンテナンスの充実	○	◎		実施(継続) ➡								
		・老朽化した漁船，機器等の更新	○	◎	○	実施(継続) ➡								
		・自動殻むき機を導入するなどの人手不足の解消	○	◎		調査・研究 ➡								
	㊧ 集荷・運搬方法の改善	・効率的な運搬方法への転換と体制づくり	○	◎	○	調査・研究 ➡								
		・共同出荷施設等の整備・改修	●	◎	○	整備・改修 ➡ 実施 ➡								
	(3) 観光事業との連携													
㊦ 販売活動の推進	・漁業者・生産者自らによるイベントへの参加(再掲)	○	◎	○	実施(継続) ➡									
㊧ 水産資源(真珠など)の活用	・水産資源を活用したPR活動	○	◎	○	実施(継続) ➡									
㊨ 体験・交流活動との連携	・体験型修学旅行や体験型モニターツアーなどとの連携	○	○	◎	実施(継続) ➡									

● 後継者の確保

VI 未来を担う漁業者等の支援

凡例…◎：主体，●：支援，○：協力

➡：重点プロジェクト

水産振興ビジョン (取組方針)	第2期水産振興ビジョンの 「戦略」と「施策」	取組内容	役割分担			計画期間										
			市	漁協・ 漁業者等	関係団体等	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36			
未来の水産業を担う「漁業所得500万円をかせぐ人材」と「新規漁業者」の育成に努めるとともに、青年部活動等の支援に取り組みます	(1) 担い手の育成															
	⑦ 担い手の育成	・加工品・販売活動の推進による 中核的漁業者の育成	○	◎	○	実施(継続) ➡										
		・担い手グループ等の活動推進	●	◎	○	実施(新規) ➡										
	(2) 新規漁業者の確保															
	⑦ 新規漁業者の確保	・新規漁業就業者の確保	○	○	◎	実施(継続) ➡										
		・独立就業に向けた支援	●	◎	○	実施(継続) ➡										
	(3) 青年部活動等の支援															
	⑦ 調査活動の強化	・新たな魚種の放流，かき養殖に おける食害対策等の調査・研究 ・新技術の導入などに関する調 査・研究	●	◎	○	実施(随時) ➡										
			○	◎	○	実施(随時) ➡										
	④ P R ・ イベント活動等の推 進	・地元水産物等の直販，イベント 活動などの推進	○	◎	○	実施(継続) ➡										

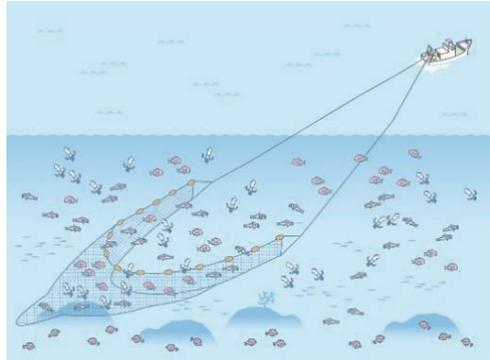
# 第9章：附属資料編

## 1 江田島市で行われている漁業種類の紹介

### 【小型機船底びき網】

袋状の網を海に入れ、船で引っ張り、入った魚を水揚げする漁法です。

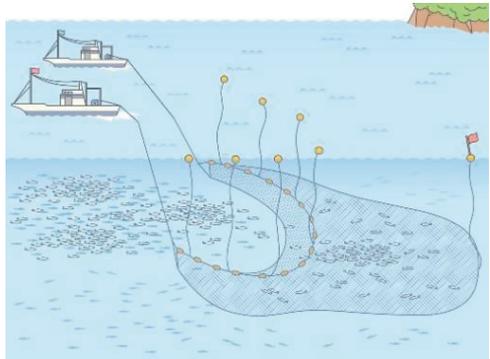
2本の曳き綱がついた大きな網を水深数十メートルの海底まで入れ、船を移動させながら引き回します。船の大きさは5トン程度です。



### 【船びき網】

2隻の漁船で袋状になった網を引いて魚を獲る漁法です。

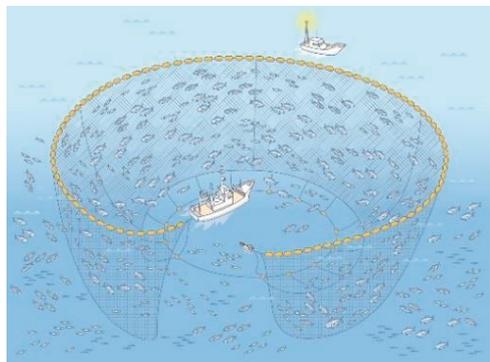
対象となる獲物は、海面に近い表層や中層にいる魚類で、夏のイワシを対象とする「イワシ船びき網」、冬のサヨリを対象とする「サヨリ船びき網」があります。



### 【まき網】

まき網は、その名のとおり魚群を網で巻くように（包围）して、網を絞り込んで獲る漁法です。

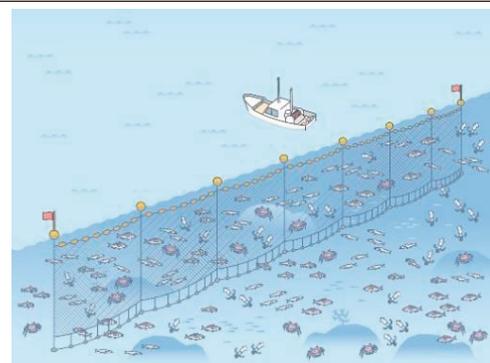
漁獲物によって網のサイズが変わり、沿岸海域ではアジ、サバ、イワシ類を対象とする中型まき網・小型まき網となります。



### 【刺網】

魚の群れが進みそうな方向を見極めて、網を壁のように仕掛け、そこを通過する群れや魚類をからませて獲る漁法です。

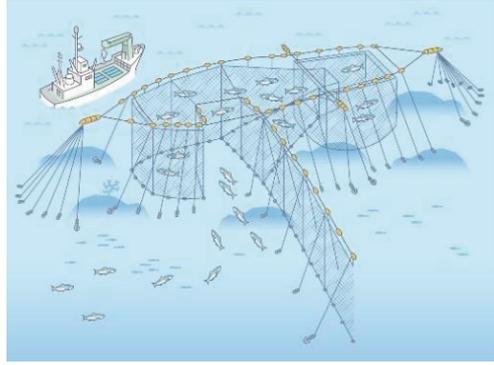
網に魚が刺さったような状態になるので、「刺網」と呼びます。



### 【小型定置網】

魚の習性を利用して行う漁法で、予め仕掛けておいた網の魚を獲ります。

網から垣網(かきあみ)という長い網が伸びており、回遊している魚はこれにぶつかって、主網(しゅあみ)の中に入り込むという仕掛けです。

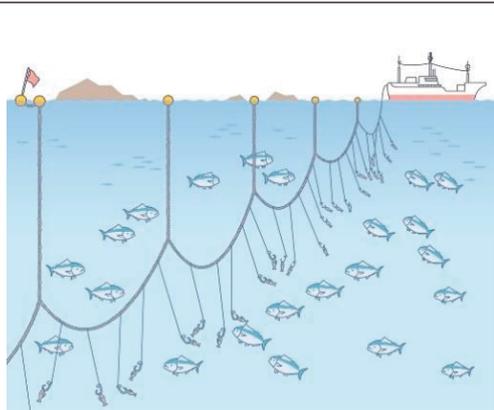


### 【はえ縄】

日本で開発された漁法で、一本の幹縄(みきなわ)に針のついた枝縄(えだなわ)を一定間隔で取り付けた漁具を使います。

枝縄の長さは数百メートルから時には数百キロに及ぶこともあります。マグロの他、サケ・マス、タラやヒラメ漁などで用いられます。

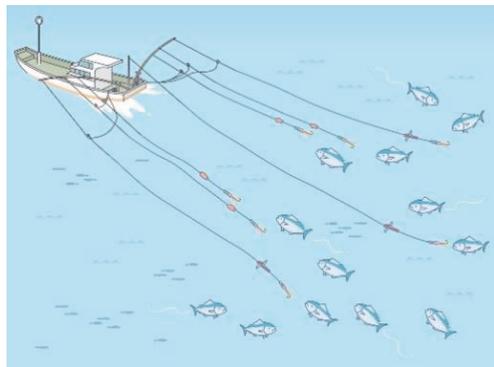
餌にする魚の大きさを調整することで、幼魚ではなく十分に成長した魚を選択的に漁獲するという長所があります。



### 【ひき縄釣】

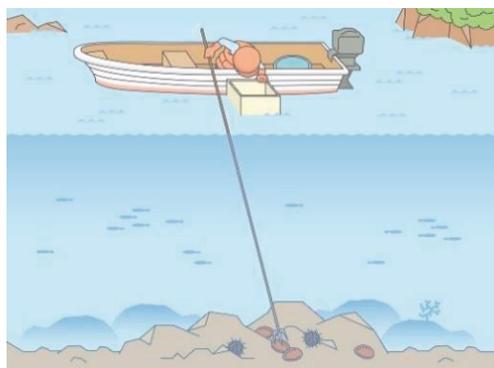
釣り糸及び釣り針を有する漁具を船舶によって引き回して行う漁法です。

通常は、船舶から竿を出して、これに釣り糸、疑似餌を付け、引き回しながら行います。



### 【採貝】

海に潜ったり、船の上から人の手によって貝類を獲ったりする漁です。



### 【採藻】

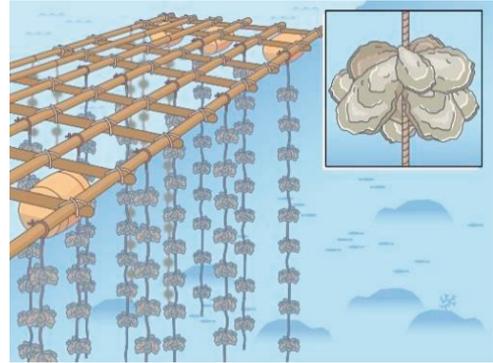
海に潜ったり、船の上から人の手によって海藻類を獲ったりする漁です。



### 【かき類養殖】

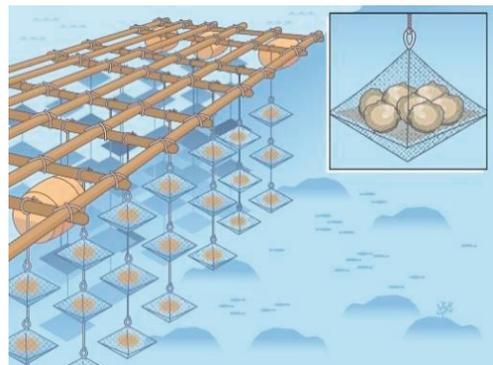
かき養殖の工程は、採苗、抑制、本垂下(育成)、収穫・出荷からなっており、1年間を通じて作業があります。

水揚げ等の海上作業、採苗準備等の陸上作業があり、養殖方法は筏式で波が穏やかな湾内を中心に行われます。



### 【真珠養殖】

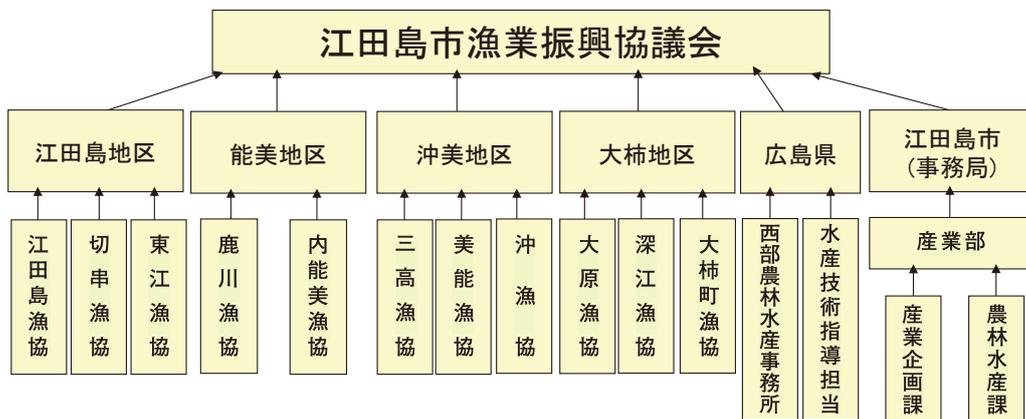
真珠養殖の工程は、母貝育成、仕立て、挿核手術、養生・珠貝育成、浜揚げ、選別からなっており、1年間を通じて作業があります。



## 2 江田島市の漁業者団体

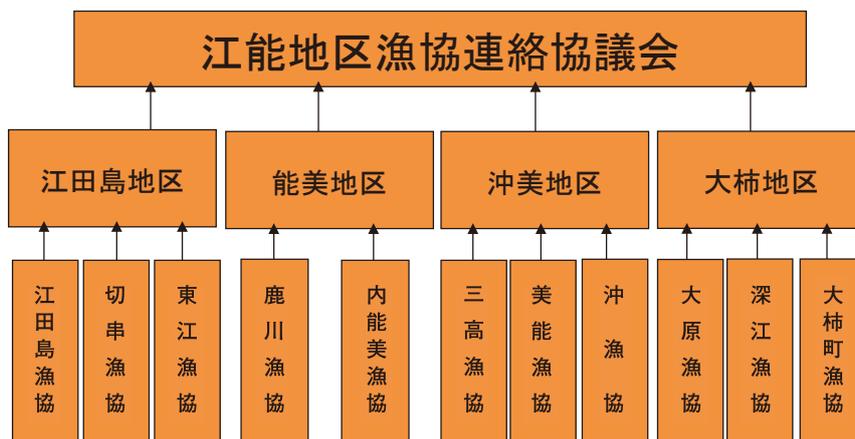
### (1) 江田島市漁業振興協議会

市内の11漁協と広島県及び江田島市で構成する団体で、平成16年11月に設立されました。水産振興ビジョンの推進に向けては、この団体を中心として協議を行いながら、実施時期や方法などを決定し、計画を推進していきます。



### (2) 江能地区漁協連絡協議会

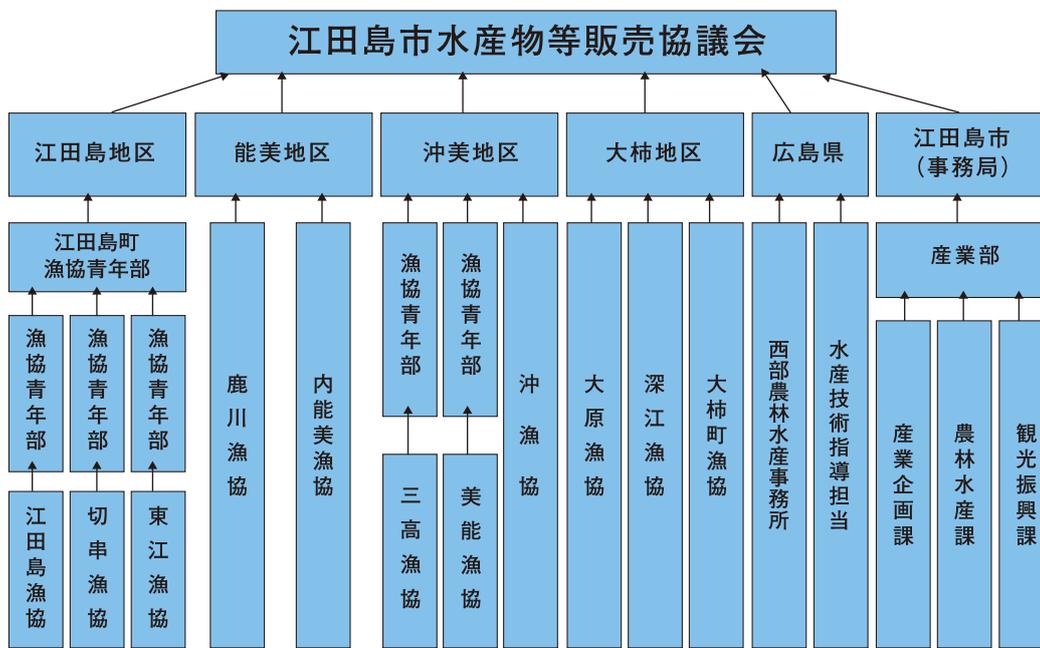
市内の11漁協のみで構成する団体です。組合同士が相互に連携を図りながら水産業の振興に向けて協議しています。



### (3) 江田島市水産物等販売協議会

市内の11漁協と各青年部に所属している若手のかき生産者が中心となって構成された団体で、平成17年5月に設立されました。

かきを始めとする水産物の販売活動のほか、かき養殖に関する調査・研究、植樹活動などにも取り組んでいます。





## 第2期 江田島市水産振興ビジョン

発行日：平成29年3月

発行：広島県江田島市

〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地  
TEL 0823-43-1641

編集：江田島市産業部産業企画課